

大飯原発の活断層追加調査は12月28・29日 評価会合は年明け…正式に決定
「もう待てません！大飯原発止めよう署名」第一次集約分
5,061筆を規制庁に提出しました(12月21日)



国の耐震指針と審査の手引きを基準として、判断を示すべきと強く要求



12月21日に「もう待てません！大飯原発止めよう署名」の第一次集約分5061筆を規制庁に提出しました。署名の提出と面談は、参議院議員会館B103号室で、市民10名と福島みずほ議員が参加されました。規制庁からは、活断層担当として渡邊桂一氏（管理補佐官）他3名の職員が出席しました。冒頭に渡邊氏から、12月28・29日の追加調査が正式に決まったこと、評価会合は年明けに予定されているとの発言がありました。

私たちは、活断層調査の判断基準は、現行の国の耐震指針と審査の手引きであることをはっきりとさせて、調査・評価を行うべきだと強く要望しました。渡邊氏は「専門家の皆さんがどう判断されるか」と繰り返しましたが、最終的に、概ね以下の点が確認されました。

[確認点]

- ・ 前回11月の調査で明確に活断層であることを否定した専門家はいなかった。
- ・ あまり調査を引き延ばすのは良くない。
- ・ 学術調査ではなく、破砕帯の活動性があるかどうかが重要。
- ・ 指針・手引きでは活断層であることを否定出来ない場合には、安全側に判断することになっている。
- ・ 指針と手引きを踏まえ、今後もっと厳しい指針の改定も行って行くのでそのような姿勢でぞみたい。



若狭地方や京都北部などは例年より早く雪の季節を迎えています。この確認にあるよう、調査や判断をこれ以上引き延ばすことなく、判断を示すべきです。グリーン・アクションと美浜の会は、同趣旨の要望を12月25日に大飯の調査団に送りました

新聞では、評価会合は1月7日からの週と報道されています(電気新聞12月25日付)。署名の第二次分は評価会合の前に提出したいと思います。年末年始ですが、1月6日の第二次集約に向けて、署名を拡大していきましょう。

もう待てません！大飯原発止めよう署名

第二次集約は1月6日です。年末年始ですが、署名を広めてください
ネット署名はこちら

<http://goo.gl/PuuON>

紙版署名

http://www.jca.apc.org/mihama/ooi/signature_ooi201212_201301.pdf